



令和4年3月

# 米沢市文化財年報 No.34

米沢市教育委員会



▲米沢工業高等学校生徒による県指定文化財笹野観音堂のドローン撮影風景

今年度、山形県立米沢工業高等学校建設環境類の御協力をいただき、授業の一環として指定等の文化財建造物や史跡のドローン撮影を4箇所を実施しました。普段は見るできないアングルからの画像や動画は、広報用としての活用だけではなく、地上からではわからない劣化やき損の早期発見にも繋がり、文化財の保存にも大いに役立ちます。また、ドローン操作の実習と共に、高校生が文化財を通して地元の歴史を学ぶ機会を提供できました。



今後もこの取り組みを継続することで四季折々に変わる魅力的な文化財の姿を蓄積し、これらの成果を空撮写真展の開催や市公式 YouTube での動画配信により発信・活用していきたいと考えています。

## 一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も国庫補助事業をはじめとして多岐にわたる事業に取り組みました。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

### 【国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（普門院本堂）保存修理事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は米沢藩を復興させた名君として知られる上杉治憲（鷹山）が師の細井平洲を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡となりました。

今年度は普門院本堂工事の3年目で基礎工事、柱など建材の補修工事を中心に進め、昨年度の耐震診断を受けての耐震補強工事の設計を行いました。

また、山形県ヘリテージ・マネージャー養成講習会の一環で建築士の方々が訪れるなど、歴史建造物保存修理の学習の場としても活用されています。



▲保存修理が進む普門院本堂

### 【文化財の修理】

昨年度からの継続事業として、上杉神社所有の国重要文化財「服飾類」と「鎧（城州埋忠作）」の修理を実施しています。

豊臣秀吉の朝鮮出兵に関わり、明国より上杉景勝に贈られた国重要文化財「明冠服飾類」は昨年度で修理が完了し、上杉神社稽照殿にて特別展示が実施されました。それに合わせて上杉神社主催の明国割符明冠服飾類シンポジウムも開催され、多くの方に保存修理の状況を知っていただくことができました。



▲修理が完了した明冠服飾類

### 【文化財調査】

文化財候補の調査では、国登録文化財の候補として小嶋総本店の調査を実施しました。

また、市内文化財の概要把握のための調査や県とともに文化財の巡回指導を実施しており、価値や位置づけを把握することで指定文化財の諮問や文化財保護へと繋げていきます。

文化財保護行政の中でも文化財調査は重要であり、今後も文化財指定や修理事業などにつながられるよう計画的に行っていきます。



▲米沢藩主上杉家墓所での文化財巡回指導

## 【綱木獅子踊り】

獅子踊りは五穀豊穡や鎮魂供養のために始まったものが多いと考えられており、綱木でも例年お盆の時期に実施されています。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、規模を縮小しての開催となりましたが、集落の中心にある円照寺跡えんしょうじでの奉納披露では、長時間に渡る勇壮な踊りが披露されました。



▲獅子行列



▲奉納披露

## 【行屋ぎょうやの小修理（屋根補修）】

国有形民俗文化財の「行屋」は農村文化研究所に2棟、米沢市上杉博物館（置賜の庭）に1棟が所在しています。上杉博物館所在の1棟が風雨被害により屋根部の杉皮が欠落したため、市の直営により杉皮を補う修理を実施しました。茅葺の技能を有する会計年度任用職員による修理で文化財の保護を図りました。



▲行屋小修理の様子

## 【未来へ伝える山形の宝事業】

ささの里づくり推進協議会では、笹野観音堂・西国三十三観音を中心とした地域づくり事業を行っており、今年度は笹野観音堂の差し茅さしがやと材料づくりワークショップ、写真展が実施されました。

差し茅と同時に開催したワークショップには、多くの親子連れが参加し、実際に文化財修理の様子に触れることで、文化財保護への関心や理解を深めてもらう機会となりました。



▲差し茅の材料づくりワークショップの様子

令和3年度は、前年度に続き新型コロナウイルスの影響を考えながらの事業実施となりました。民俗芸能や文化財関係のイベントが中止となるなど、まだまだ状況は改善されていません。そんな中でもシンポジウムやワークショップの開催など、少しずつですが文化交流が動き始めています。

上記の他、新規事業として上杉文書調査事業、継続事業として市指定史跡直江石堤の草刈・雑木除去や国・県指定文化財への管理補助事業、民俗文化財への支援などを実施しています。今後とも文化財保護へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

## 埋蔵文化財事業

今年度の埋蔵文化財関連事業については、館山城跡の発掘調査に加え、民間の開発に伴う発掘調査が5件ありました。また、館山城跡や戸塚山古墳群等の史跡案内、博物館への遺物の貸出や埋蔵文化財資料室の見学といった活用事業にも努めました。以下、主な事業について紹介します。

### 【威徳寺北遺跡の発掘調査】

民間事業者による宅地造成工事に伴い、中田町にある威徳寺北遺跡の発掘調査を行いました。調査では、主に古代と中世・近世からなる遺構・遺物が確認されました。

古代では、須恵器の高坏や瓦が出土するなど、本遺跡の近接し、古代の置賜郡衙（役所）跡と考えられている大浦遺跡群や笹原遺跡との関連が看取できる遺物が出土しました。

中世・近世では、池跡が検出され、多数の瓦質土器片が出土しました。池跡は、近世の屋敷地の一部と考えられます。

### 【市内遺跡発掘調査事業】

埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼件数は、令和4年2月28日現在45件で、このうち、前述の威徳寺北遺跡を含め、5件で緊急発掘調査を実施しました。



▲威徳寺北遺跡調査区完掘状況（南から）



▲威徳寺北遺跡出土須恵器高坏（左）、瓦（右）

### 【米沢城跡の発掘調査】

宅地造成工事に伴って緊急発掘調査を実施しました。調査では、中世末から近世にかけての遺構・遺物が確認されました。大型の土坑から長さ約1.3mの木製のへらが出土しました。

### 【大浦C遺跡の発掘調査】

個人住宅建設に伴って緊急発掘調査を実施しました。本遺跡を含む大浦遺跡群は、これまでの調査で大規模な建物跡や柱列が確認されていますが、今回の調査でも、古代及び中世の掘立柱建物跡の一部が確認できました。遺物は、瓦質土器の小破片が数点出土したのみでした。



▲米沢城跡調査区全景（南から）



▲米沢城跡土坑遺物出土状況



▲大浦C遺跡調査区全景（北から）

### 【館山c遺跡の発掘調査】

個人住宅建設に伴って緊急発掘調査を実施しました。調査では、竪穴状遺構や倒木痕、土坑、溝跡が確認されました。遺物は縄文土器片と陶磁器片が少数出土しました。

### 【野<sup>の</sup>際遺跡の発掘調査】

個人住宅建設に伴って緊急発掘調査を実施しました。本遺跡は、これまでの調査で縄文時代後期の<sup>こぶつき</sup>瘤付土器や土偶が出土しており、今回の調査でも、フラスコ状土坑から瘤付土器を含む土器が一括して出土するなど、大変重要な成果を得ることができました。



▲館山c遺跡調査区全景（東から）

▲野際遺跡一括土器出土状況

▲野際遺跡出土瘤付土器

### 【国指定史跡館山城跡の確認調査】

今年度は<sup>くるわ</sup>曲輪Ⅱ北西側に所在する土山の機能等の確認及び山城と北館を結ぶ登城路の確認を目的とする調査を実施しました。

調査の結果、土山は大正8年（1919）に建設された館山発電所の導水路工事で発生した残土山と考えられ、現況で見える通路の痕跡も大正時代以降に形成された可能性が高いことがわかりました。

来年度は未調査の曲輪Ⅲを中心に発掘調査を進めていきます。



▲史跡館山城跡発掘調査現場見学会風景

### 【埋蔵文化財の活用】

平成28・29年度に発掘調査を実施した大南遺跡<sup>おおみなみ</sup>出土の遺物が、文化庁主催の「発掘された日本列島2021」展で展示されました。今年度は東京都江戸東京博物館、苫小牧市美術博物館、群馬県立歴史博物館の3館で開催されています。また、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館や寒河江市美術館などへ遺物の貸出を行い、これらの機会を通じて本市の文化財を多くの方々から見ていただくことができました。

埋蔵文化財資料室は地元の米沢女子短期大学の授業や、一般の方々の見学で利用していただきました。さらには、考古学等の専門家による調査・研究のため、戸塚山137号墳や花沢A遺跡等の資料調査に協力しています。



▲群馬県立歴史博物館での展示風景



▲米沢女子短期大学の資料室見学風景

## 《第 10 回 文化財事業特集：上杉文書史料調査事業》

特集では、今年度から実施している上杉文書史料調査事業について紹介します。

### 上杉文書とは

上杉文書は、昭和 29 年に上杉家から米沢市に寄贈された史料群で、米沢市上杉博物館の特別収蔵庫に収蔵されています。米沢藩の藩政史料が大部分を占め、主に米沢藩御記録所で記録されたものと、一部に中世や林泉文庫（伊佐早謙所蔵史料）から編入された史料で構成されています。総点数は約 1 万点あり、書状、典籍、絵図などが混在しています。



▲上杉文書



▲上杉文書収蔵状況

### 調査概要・目的

上杉文書と同様に上杉家に伝来した史料群に「上杉家文書」があります。目録も刊行され、平成 13 年に国宝に指定されています。当時、上杉文書も「附」として指定の可能性はありましたが、詳細目録化されていなかったために指定は見送りとなりました。上杉文書には概要目録（昭和 44 年のマイクロフィルムのもの）はありますが、全容は分かっていません。

本事業では、史料調査を通じて上杉文書の全点を把握することで歴史的価値を明らかにし、史料の適切な保存を図るとともに、史料を活用した調査研究・展示・博物館資料データベースでの公開へとつなげることを目的としています。

また、史料群の中には書状等が卷子化・製本化されたものなど、後世に改変されているものもあります。史料調査を通じて史料の性格や状態を確認し、修理が必要な史料については将来的に修理も検討していきます。

### 調査状況

上杉文書の調査期間は 5 年間とし、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の補助を受け、令和 3 年度から開始しました。

米沢市と上杉博物館が事務局となり、文化庁・山形県・外部の専門家で構成される上杉文書調査委員会の指導を受け、福島大学・東北芸術工科大学・米沢女子短期大学とも連携して調査を進めています。



▲調査委員会の様子

今年度は週1～2日、上杉博物館にて史料調査を実施しています。調査は1点1点の史料の記載内容、史料の状態、<sup>ほうりょう</sup>法量等の情報を目録に落とし込んでいきます。後世に貼り継がれて元の形から改変されてしまった史料は、解体して元の状態に近づけていきますが、その前後の状態も写真に収めて記録していく必要があります。

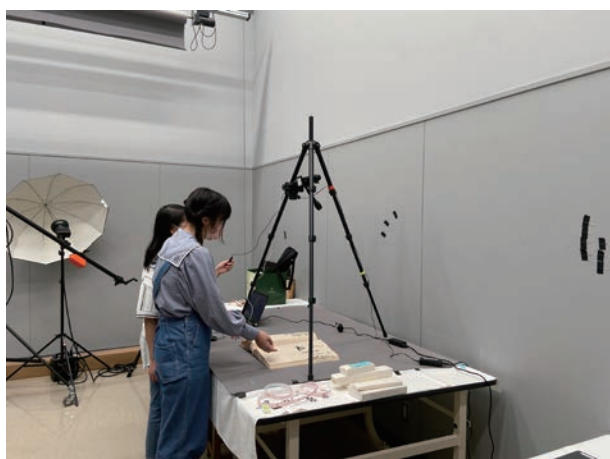
また、調査を進めていくと1点の史料の中に沢山の文書が収納されているもの、複数の文書が貼り継がれた卷子、沢山の紙片が挟まれた冊子等があり、「1点」の基準をどこに置くべきかが課題となっています。



▲目録採録の様子



▲後世に貼り継がれた文書



▲解体前の史料(冊子体)撮影



▲撮影が終わった史料の解体作業

## 情報発信

史料調査の様子や進捗状況は、上杉博物館 HP や SNS(Twitter、Facebook) を通じて発信しています。

伝国の杜上杉博物館 HP 「上杉文書の概要と史料調査について」

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/uesugimonjyo.htm>

※こちらからもアクセスできます→



## 令和4年度以降の予定

今年度に引き続き、目録採録を行います。また、絵図の写真撮影や解体も並行して実施していきます。令和7年度刊行予定の報告書の構成や上杉博物館データベースでの公開活用についても検討しつつ調査を進めていきます。

令和3年度 米沢市文化財関係事業

区 分	令和3年度の重点事項	令和3年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の記録</li> <li>○文化財に関する諮問機関の開催</li> <li>○文化財行政推進大会への参加</li> <li>○文化財の普及・教育</li> <li>○文化財専門研修への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「米沢市文化財年報」No.34の発行</li> <li>・米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回R3.7.19 第2回R4.3.22)</li> <li>・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会・山形県史跡整備市町村協議会への参加(新型コロナウイルス感染拡大の影響により全史協東北地区は延期、県史協は中止)</li> <li>・埋蔵文化財資料室・史跡等の見学対応・出前講座の実施</li> <li>・奈良文化財研究所研修への参加(史跡等保存活用計画策定過程)</li> </ul>
2. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の調査</li> <li>○文化財の保存・活用</li> <li>○指定文化財保存管理の充実</li> <li>○指定文化財環境整備の促進</li> <li>○無形民俗文化財後継者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財及び指定等文化財候補の調査(法音寺所有文化財・小嶋総本店等)</li> <li>・米沢工業高等学校との文化財建造物等ドローン撮影</li> <li>・文化財巡回指導(国・県指定文化財)</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院本堂)保存修理事業(14年目、本堂工事の3年目)</li> <li>・国指定文化財「服飾類(上杉謙信、景勝所用)」ほか保存修理事業(5ヵ年事業の3年目)</li> <li>・国指定文化財「鍵(城州埋忠作)」保存修理事業(2ヵ年事業の2年目)</li> <li>・上杉文書史料調査事業(5ヵ年事業の1年目)</li> <li>・国指定文化財「行屋」の管理、現状変更(小修理)</li> <li>・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護</li> <li>・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査</li> <li>・文化財防火デー(千眼寺)</li> <li>・未来に伝える山形の宝事業への協力(芳泉町・笹野・万世地区)</li> <li>・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」管理に係る補助</li> <li>・県指定史跡「林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所」、県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」管理に係る補助</li> <li>・国指定史跡「一ノ坂遺跡」、市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」等の環境整備(草刈・雑木除去等の実施)</li> <li>・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助</li> </ul>
3. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>○埋蔵文化財の調査</li> <li>○埋蔵文化財の情報収集及び周知</li> <li>○報告書の作成</li> <li>○埋蔵文化財の保存・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定史跡「館山城跡」の範囲・内容確認調査</li> <li>・宅地造成に伴う威徳寺北遺跡・米沢城跡の緊急発掘調査</li> <li>・個人住宅建築に伴う大浦C・館山c・野際遺跡の緊急発掘調査</li> <li>・戸塚山137号墳出土人骨の調査</li> <li>・開発事業に伴う事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における分布調査・確認調査</li> <li>・米沢市埋蔵文化財調査報告書第121～123集の刊行(威徳寺北遺跡、米沢城跡、市内遺跡)</li> <li>・埋蔵文化財資料室・埋蔵文化財南原資料室の維持管理</li> <li>・「発掘された日本列島2021」展に大南遺跡が出展</li> </ul>

発行 米沢市教育委員会教育管理部文化課文化財担当  
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号  
TEL: 0238-22-5111(内線7530、7531)  
FAX: 0238-21-6020  
E-mail: bunkazai-t@city.yonezawa.yamagata.jp